## 準高冷地域で6月下旬、7月下旬に定植する高品質多収のレタス品種

準高冷地域の6月下旬、7月下旬に定植する作型で、結球レタス品種「シーカー」、「サーマルスター」は、対照品種「サウザー」と比べて、結球の異常や抽台がみられず、多収である。

農業研究センター高原農業研究所(担当者:石原稔郎)

## 研究のねらい

熊本県内の準高冷地域における6月下旬、7月下旬に定植する作型において、収量の安定する結球レタス品種を選定する。

## 研究の成果

- 1. 対照品種「サウザー」と比べ、「シーカー」、「サーマルスター」は、病害の発生に関して優れた性質は認められないが、中肋部突出球や抽台株の発生がみられないことから、10a 当たりの収量は明らかに向上する(表1)。
- 2. 収穫時の調整球重は、「サウザー」と比べ、両品種とも劣るものの、球形比のばらつきが少なく、結球緊度が高い(表 2)。
- 3. 作期全般で「シーカー」と「サーマルスター」を比べた場合、「シーカー」は調整球重が優れ、「サーマルスター」は結球緊度が安定する傾向がみられる(表 2)。

## 普及上の留意点

- 1. 育苗に 128 穴セルトレイを使用し、本ほ施肥量 N:P:K=10:10:10kg/10a、株間 30cm、畦幅 120cm の 2 条植え、白黒マルチ被覆の露地畑(標高 543m)で栽培した結果である。
- 2. 栽培期間中の多雨は病害の多発が懸念されるため、ほ場の排水対策、殺菌剤の予防散布に努める。

表1 収穫期の品質割合と収量性

年度	字插 口	収穫日	品種	収穫株率		10a当たり		
	足他口				中肋部突出球	抽台株	病害株	収量 (対比)
	月/日	月/日		%	%	%	%	kg/10a
H22	6/21	8/16	サウザー	33	43	7	18	825 (100)
			シーカー	63	0	0	37	2,086 (253)
			サーマルスター	72	0	0	28	2,133 (258)
	7/28	9/3	サウザー	19	56	13	13	669 (100)
			シーカー	95	0	0	5	2,939 (439)
			サーマルスター	96	0	0	4	3,056 (457)
H23	6/24	8/2	サウザー	30	34	5	31	1,001 (100)
			シーカー	77	0	0	23	2,276 (227)
			サーマルスター	57	0	0	43	1,387 (139)
	7/21	8/22	サウザー	21	45	12	22	632 (100)
			シーカー	66	0	0	34	1,901 (301)
			サーマルスター	75	0	0	25	2,031 (321)

注1)病害は軟腐病、灰色カビ病等が発生

表 2 収穫期の結球状況

年度		収穫日	在ほ 日数	 品種 -	調整球				
	<b>止</b> 個日				重量(対比)	球高	球径	球形比	結球緊度
	月/日	月/日	日間		g/球	cm	cm	球高/球径	g/cm <sup>3</sup>
H22	6/21	8/16	56 注1)	サウザー	455 (100)	12.2	12.5	0.97	0.45
				シーカー	596 (131)	12.3	12.9	0.95	0.55
				サーマルスター	533 (117)	12.0	12.8	0.94	0.52
	7/28	9/3	37	サウザー	620 (100)	14.2	14.1	1.01	0.42
				シーカー	557 (90)	11.4	12.8	0.89	0.57
				サーマルスター	573 (92)	12.2	12.8	0.94	0.52
H23	6/24	8/2	39	サウザー	604 (100)	15.0	17.5	0.86	0.25
				シーカー	532 (88)	13.7	14.6	0.94	0.35
				サーマルスター	438 (72)	12.2	12.9	0.94	0.42
	7/21	8/22	32	サウザー	542 (100)	14.2	15.1	0.94	0.32
				シーカー	519 (96)	13.5	14.1	0.96	0.37
				サーマルスター	488 (90)	12.6	12.9	0.97	0.44

注1)H22の6月定植では天候不順による初期生育の遅れから在ほ日数が長期化した

<sup>2)10</sup>a収量は5,556株/10aから算出

<sup>2)</sup> 調整球は、結球部外側に外葉を4枚程度残した状態

<sup>3)</sup>結球緊度は、(重量(g)/(π×球高(cm)×球径(cm)×球径(cm)/6)により算出